

期待

ジョーンズボロ アーカンソー州 アメリカ合衆国
1953年05月07日

1 「ありがとう、リード兄弟。皆さん、こんばんは。主の家に集い、神に仕え、そして助けを必要としている方々に奉仕できることは、いつもこの上ない特権です。少し遅れてしまい申し訳ありません。息子が迎えに来てくれたのですが、すぐ近くの通りで列車が私たちを十五分ほど足止めしてしまい、他に回り道もなく、ただ待つしかありませんでした。リード兄弟は『わかりますよ』とおっしゃいました。どうやら数日前に、同じような経験をされたそうです。それでも、こうして神の家におれることは本当に恵みです。ですから、皆さんのお時間をこれ以上無駄にしないよう、できる限り手短に進めさせていただきます。」

2 昨夜は、「主イエスのご性質」について少しお話ししました。もしあなたが主イエスを探すなら、どんなお方を探すでしょうか。そのお姿はどのようで、どんな御霊を持たれているお方でしょうか。私たちは聖書の中にその型を見いだしながら、主がどのようなお方であったか、そのご奉仕がどのように働き、どのように行われたかを学びました。そして、「イエス・キリストは昨日も今日も、いつまでも変わることのない方です」から、今日も同じように働かれることを見ました。

実際、その通りではありませんか。同じ主イエスなのです。主はご自身を大いなる人物として名乗られたことはありません。「父が示してくださること以外は何も行わない」と言われました。そして父が何かをお示しになると、その通りに行われたのです。主は人々の思い、考えていること、していること、また何が間違っているかをご存じでしたが、それでも奇跡はすべて、神が許されたときだけ行われました。よく見ると、どこでもいつも「父がそうせよと命じられた」ことだけをなさっておられました。あるとき、二人の盲人が通りで叫び、主に癒してほしいと願っていました。しかし主はそのまま通り過ぎて家に入られました。

盲人たちは家の中に連れて来られたとき、主は彼らに向かって言われました。「あなたがたの信仰の通りになるように。」主はそのとき、特別な幻を見ておられたわけではありません。というのも、主ご自身がこう言われたからです。

「父がわたしに示してくださることだけを行う。父が示してくださらなければ、わたしは何も行わない。」(ヨハネの福音書5章19節)「父が働かれるので、わたしも働くのです。」。

3 また、ベテスダの池を通られたときのことを思い出します。そこには多くの病人や足の不自由な人、目の見えない人たちが、大勢横たわっていました。しかし主は、彼らの誰にも触れず、その中をまっすぐ通り抜けて行かれました。目の見えない人、足の不自由な人、病に苦しむ人たちが、みな水が動くのを待っていました。けれど主はただ一人、三十八年間も寝たきりでいた男のところに行かれ、その人が長い間この状態にあることを知って、こう言われました。「起きて、床を取り上げ、家に帰りなさい。」その後、主は人々から問い詰められました。

どうして、あの多くの病人を通り過ぎて、たった一人の男だけを癒されたのか、と。考えてみてください。主はただ一人の人のところへ行かれたのです。しかし、それは父がその一人を示されたからでした。主ができるのは、父が示されたことだけだったのです。またあるとき、一人の女が主の衣の裾にそっと触れました。すると主は振り向いて言われました。「あなたの信仰が、あなたを救ったのです。」——あなたの信仰が、です。

4 さて、もし今夜、私たちの主イエスがこの場に、肉のからだをもっておられ、私たちと同じような衣を着ておられたなら、主はやはり父が示されることだけをなさるでしょう。神がそのうちにおられ、主をインマヌエル(神われらと共にいます方)とされたのです。そして神が語られること、また啓示されることを、主は完全にご存じでした。しかし、人々と向き合われるとき——主が語り始め、人々と少しのあいだ話すとき、主は彼らの思いを悟り、何を考え、どこに問題があるのかを見抜かれました。まず、人と心の接触を持たれたのです。たとえば、井戸のそばの女に「わたしに水を飲ませてください」と声をかけられたのも、彼女の霊をとらえるためでした。見てください、私たちは人間ですが、同時に超自然的な存在でもあります。この会場にいるすべての人の体のうちには霊が宿っています。その霊は、神からのものであるか、そうでないかのどちらかです。そして私たちが関わるべきなのは、その部分なのです。賜物や召しは、もちろん、悔い改めとは無関係に与えられます。神はあらかじめ決めておられるのです。あなたはそれを信じますか?——そうです、それは神の御業なのです。

5 さて、これは自分の力でどうにかできることではありません。たとえば、もし私が「茶色い目になりたい」と思ったとしても、何の意味もありません。神が私に与えられたのは青い目ですから、私はその青い目に満足しなければならないのです。「思い煩ったところで、自分の背丈を一キュビトでも伸ばせる者がいるだろうか。」——そう、誰にもできません。ですから、集会が本格的に始まる前に、少し内側の理解を持っておきたい

方のために、ここでその要点をお話ししておきましょう。この後はリード兄弟が引き続き語ってくださいます。さて、皆さんの中で——ほとんどの人がそうですが——夢を見ることがありますね。そうです。たいていの健全な人は夢を見ます。神は、もし夢の解き明かす者がいるなら、夢を通して語られることがあります。実際、聖書の中でもそのようにされました。

しかし、夢というものはそれほど正確ではありません。夢の解き明かす者がいないかぎり、はっきりとは分からないものです。科学的な観点から言えば、夢とは私たちの「潜在意識」の働きだと教えられています。

6 さて、ここで少し注目してみましょう。こちらを見てください。今ここに一人の人がいます。この人は「第一の正常な意識」を持っています。そして、ここに「潜在意識」があります——彼のすぐ後ろ、少し離れたところにあるようなものです。さて、この「意識」が働かなくなると、人は夢を見る状態に入ります。

そして多くの場合、その夢の中で、目覚めていたときにしたことを夢に見るのです。やがて意識が再び働き始めて目を覚ますと、その夢を覚えています。

では、何年も前に見た夢を、いまでもはっきり覚えているという方はいらっしゃいますか?……ええ、多くの方がそうですね。

それは、あなたのどこか一部が、いまでもその記憶を自然な意識の中に保っているということです。おわかりになりますか?さて、中にはまったく夢を見ない人もいます。そのような人の潜在意識は、おそらくこの壁の向こうくらい遠くにあるのです。彼らはとても深く眠ります。少しの物音では決して目を覚ましません。

麻酔をかけても、潜在意識が戻ることはありません。彼らにはどうすることもできないのです。夢を見ないのも彼らのせいではなく、また夢を見る人も、それを自分で選んだわけではありません。たとえば、あなたが「夢を見た」と言ったとして、私が「では今、夢を見てみてください」と言っても、あなたにはできませんね。それと同じように、私も神が語られない限り、何も言うことはできません。——すべては、神の栄光のためなのです。

7 さて、「先見者(シーア)」とはどういう人でしょうか。この人——先ほどの例で言えば夢を見る人は、夢を見るように生まれついています。そして、夢を見ない人もまた、神がそのように造られたのです。ところが、「先見者」あるいは「預言者」と呼ばれる人の場合は違います。彼の潜在意識は、あちら(遠く離れたところ)にも、こちら(通常意識側)にもなく、——ちょうどこの「間」にあります。つまり、通常意識と潜在意識の両方が一つに重なっているのです。彼は眠る必要がありません。意識が一つの領域からもう一つの領域へと、そのまま移るのです。それも自分の意思ではなく、神の御心によってそうなります。神がその境を開かれるのです。たとえば、もしここに私が一度も会ったことのない人が立っていたとしましょう。その人について、私が何かを知る必要があるとすれば、

それは自然の領域ではなく、超自然の領域から知らされなければなりません。

神がその領域を「破って」啓示を与えられるのです。

8 さて、昨夜、聖書を学ぶ中で私たちは見ました。主イエスがこの地上におられたとき、人々は主が彼らの心の奥の思いを知っておられるのを見ました。

主は彼らの内にあることを言い当てられたのです。すると人々はこう言いました。「彼は占い師だ。ベルゼブル、すなわち悪霊どものかしらだ!」と。

しかし考えてみてください。占い師や悪霊の力を使う者が、福音を宣べ伝え、病人を癒し、人々を神に導くようなことをするのでしょうか?聖書は言っています——「その実によって、その者を知る」と。主イエスこそ、神の御子でした。

そして悪魔は、神が造られたすべての「本物」に対して、その偽物を造るのです。神は真のクリスチャンを造られました。すると悪魔は、まるで本物のように振る舞う「偽善者」を造ります。外見は似ていますが、中身はまったく違うのです。しかしそれは、「本物のクリスチャンが存在しない」ということを意味しません。むしろ、悪魔は常に偽物を造るのです。ところが、多くの人は聖書をもとに落ち着いて理性的にそれを見分けようとしません。では、占い師や霊能者と呼ばれる者と、神の預言者との違いを見分ける唯一の方法は何でしょうか。

最近、皆さんの多くも読まれたと思いますが、『リーダーズ・ダイジェスト』誌の十一月号に、私の集会

の記事が掲載されました。「ドニー・マーティンの奇跡」と題された記事です。その少し前には、「ミセス・ペッパー」という女性に関する記事も載っていましたね。

9 さて、「本物」と「偽物」を見分ける唯一の方法についてお話ししましょう。

もし私があなたに一枚のドル札を渡して、「これは本物のドル札でしょうか？」と尋ねたら、お金に詳しい人なら、まずその質感を確かめるでしょう。価値があるかどうかを“感じ取る”のです。本物のドル紙幣は、ただの紙ではありません。

絹が織り込まれていて、完全な紙ではないのです。だからこそ、その「質」を見極めなければなりません。同じように、もしある働きや現象が神からのものかどうかを確かめたいなら、その「価値」を見なさい。——それが何を生み出しているかを見るのです。悪霊に取りつかれた人たちが、福音を宣べ伝えたり、病人を癒したり、キリストの再臨を説いたり、神のことを語ったりするのを、あなたは見たことがありますか？ありませんね。彼らの語ることは、たわごとや混乱した言葉、あるいは「失くし物」や「亡くなった人」といった類いの、何の価値もないことばかりです。では、「本物」であることを確かめる確実な方法は何でしょうか。それは、そのドル札を造幣局(ミント)に持っていくことです。紙幣に記されたシリアルナンバーを調べ、造幣局に記録されている番号と一致すれば、

そこにはそれと同価の銀貨(本物の価値)が存在しているのです。

10 ですから、どんなことも、必ず聖書に立ち返って確かめるのです。そこが、いわば「造幣局(ミント)」なのです。もし聖書がそれについて語っているなら、それは確かなものです。主イエス・キリストご自身が言われました。「わたしのするわざを、あなたがたも行う。さらにこれよりも大きなわざをも行うであろう。」

(ヨハネの福音書14章12節)

ここで言われている「大きなわざ」とは、質において主を超えるという意味ではありません。主は自然を止め、死者をよみがえらせ、天地を越えた御業をなさったお方です。それ以上に「大きな」ことなど、人にはできません。ですから、ここでの「greater(大いなる)」とは量的により多い、という意味です。主はさらにこう言われました。「しばらくすれば、世はもうわたしを見ない。しかし、あなたがたはわたしを見る。わたしはあなたがたと共におり、あなたがたのうちにおるであろう。」「世の終わりまで、あなたがたと共にいる。」「イエス・キリストは昨日も今日も、いつまでも変わることはない方です。」

——そう、同じ主イエス・キリストなのです。

11 ですから、あの時代に宗教指導者たちが主の御霊を理解できなかったように、

今日の宗教家たちが同じように誤解することがあっても、不思議ではありません。けれども主は、今もなお同じ御業をなさっておられます。なぜなら、主の御霊はいまここにおられ、神の御言葉は必ず成就しなければならないからです。

——なんと驚くべき、なんと素晴らしいことでしょう!さて、少し聖書をお読みしたいと思います。ルカの福音書第2章の25節からです。見よ、エルサレムにシメオンという人がいた。この人は正しく、また敬虔で、イスラエルの慰めを待ち望んでいた。そして聖霊が彼の上にとどまっていた。彼は聖霊によって、「主のキリストを見るまでは死を見ない」と告げられていた。彼が御霊に導かれて宮に入ったとき、両親が律法の習わしに従って幼子イエスを連れて来た。そのときシメオンは幼子を腕に抱き、神をほめたたえて言った。「主よ、今こそあなたのしもべを御言葉のとおり安らかに去らせてください。わたしの目はあなたの救いを見たからです。」

12 しばらく頭を垂れて祈りましょう。天の父なる神様、あなたの御言葉を感謝いたします。どうか今夜、この御言葉が私たちのうちに生きた現実となりますように。御言葉が、私たちの肉のうちに宿りますように。神の御言葉の一つひとつは「種」です。そしてその種が、正しい土地に正しく蒔かれるなら、必ずその種の種類に応じた実を結びます。とうもろこしの種はとうもろこしを、小麦の種は小麦を生み出します。同じように、神のすべての神聖な約束は、約束した通りの実を必ず結ぶのです。どうか今夜、この御言葉の種が豊かな良い土地に落ち、百倍の実を結びますように。主イエスの御名によってお祈りいたします。アーメン。

13 ああ、主はご自身の御言葉を今も植え続けておられます!これこそが、何よりもまず神の永遠の御言葉なのです。そして今夜、あなたが救いと癒しを求めてここにおられる間に、はっきり申し上げたいことがあります。——神があなたのためにできることは、すでにすべて成し遂げられたということです。すべての罪は赦されました。すべての病は癒されました。あなたがすべき唯一のことは、カルバリー(十字架)を見上げて、神が

すでにあなたのために成してくださったことを受け取ることです。そうです、すでに完了しているのです。主イエスはカルバリーでこう言われました。成し遂げられた(It is finished.)」ですから、「私は二十年前に救われました」と言うよりも、「私は十九百年前に救われたのです。ただ、それを二十年前に受け取ったのです」と言うべきなのです。キリストが十字架で死なれたとき、主は罪と病の両方の代価を支払われました。そして、「病」とは「罪」の結果であり、「罪」とはすなわち不信仰なのです。——このことを、どうぞ心の奥に深く染み込ませてください。

14 さて、ここではっきりと掴んでください。**罪とは「不信仰」**のことです。

聖書は言っています。「信じない者はすでに罪に定められている。」(ヨハネ3:18)

盗むこと、嘘をつくこと、酒を飲むこと、不倫すること——それ自体が「罪」ではありません。それらは罪の結果(属性)なのです。なぜそのようなことをするのか——それは信じていないからです。そして、正直で、誠実で、正しい生き方をし、聖く、尊敬される人であること——それ自体が「キリスト教」であるわけでもありません。それは、信仰の実なのです。あなたがそう生きるのは、キリスト・イエスを信じ、神の御子として新しく生まれたからです。アーメン。

主は言われました。「良い木は悪い実を結ばず、悪い木は良い実を結ばない。」

その実によって、その人を知る。」(マタイ7:17-20)今夜、もし聖霊がこの会場に臨まれ、御言葉が真理であることを証しされるなら、あなたがその後でそれを信じないなら、あなたは罪の中にあるのです。神があなたの人生の過去と未来を明らかにし、その「過去」が真実であるとあなた自身が知っていながら、それでも信じないなら——聖書が言うように、「これよりも悪いことが起こるでしょう。」

主は言われました。「行って、もう罪を犯してはならない。」(ヨハネ8:11)

15 「罪を犯すな」とは、酒を飲んだり、乱れた生活に戻るなどという意味だけではありません。主の言葉はこうです——「行って、もう不信仰を犯してはならない。」アーメン。そうです、これこそが真理です。さて、今日のペンテコステ派の教会で、私が最も大きな問題だと感じるのは何でしょうか?——それは、「自分たちが誰であるかを知らない」ことです。あなたがたは神の息子・娘たちなのです。

多くの人が「何かもっと大きなものがやって来る」と待っています。しかし、すでに最も偉大なものを受け取っているのです!聖書は言います。「今、私たちは神の子どもです。」(ヨハネ第一3:2)「やがて神の子になる」ではありません。

今、すでに神の子どもなのです。そして私たちは、今この瞬間も——

キリスト・イエスにあって、天の所に共に座しているのです(エペソ2:6)。

ああ、なんということでしょう!このような信仰が教会の中に満ちるとき、

悪魔はその場から逃げ出します。なぜなら、そのときあなたはすでに……

16 サタンには、クリスチャンに対して一切の合法的な権利はありません。

人が救われたとき、神はまるで一束の小切手帳のようなものを差し出されるのです。神はご自身の名をすべての小切手の下に署名して、こう言われます。

「さあ、これらを自由に使いなさい。」それなのに、多くの人は恐れて手を出しません。でも主は言われました。「あなたがたが祈って求めるものは何でも、すでに受けたと信じなさい。そうすればそれはあなたがたのものとなる。」(マルコの福音書11章24節)ただ信じるのです。

神の御言葉の一つひとつは「種」であり、その種は、神が定められた目的を必ず実らせます。ここにおられる皆さんの中にも、綿やリンゴ、モモなどを育てている方がいるでしょう。小さなリンゴの苗木を思い浮かべてください。それがたとえこのくらいの大きさしかなくても、その中にはすでに何斗分ものリンゴの実がすべて詰まっているのです。そんなはずはないですよ、ブラナム兄弟」と言うかもしれません。けれども、もしその木の中にリンゴがなければ、いったいどこからリンゴが生まれるのでしょうか?——そう、その木の中にすでにすべての実が宿っているのです。

17 さて、その小さな木がすべきことはただ一つです。——地面に植えられ、成長することです。木は地面か

ら水分を吸い上げなければなりません。しかも、ただ自分に割り当てられた分だけでなく、それ以上の水を吸い上げる必要があります。

ですから、たっぷりと水を与えなければなりません。水を与えれば与えるほど、木はそれをどんどん吸い込み、もう吸いきれなくなるほどに飲み込みます。

すると今度は、押し出すようにして枝を伸ばし、葉を茂らせ、花を咲かせ、実を結ぶのです。そう——その実は、最初から木の内にあったのです。ただ、それが水を吸って外へ現れてきただけなのです。同じように、キリスト・イエスにあって新しく生まれた人もそうです。あなたが人生で必要とするすべてのもの——癒しも、導きも、力も——それらはすでにあなたのうちに備えられています。もちろん、サタンはあなたを苦しめようとします。しかし、あなたが人生で必要とするものはすべて、新しく生まれたその瞬間に、すでにあなたのうちにあるのです。

私たちはキリスト・イエスのうちに植えられた木なのです。……わかりますか？

18 あなたが新しく生まれ変わり、聖霊のバプテスマがあなたの心に注がれたとき、

その瞬間から、あなたの人生の旅路に必要なすべてのものが、すでにあなたのうちに備えられています。あとはただ——飲み続け、押し出し続けることです。

飲んで、押し出し、また飲んで、また押し出す。私の主、キリスト・イエスは、まさにそのようなお方です。主は尽きることのないのちの泉なのです。

主に植えられたすべての人は、その泉から何度でも、いくらでも飲むことができます。飲めば飲むほど、あなたのうちから贖いの祝福が押し出されていくのです。神が約束されたすべての祝福は、あなたのものです。それは、あなた自身の権利なのです。そしてサタンには、それに対して何の権利もありません。

サタンの法的な権利は、カルバリーで完全に打ち砕かれたのです。

ああ、見てください。主がカルバリーの十字架で息を引き取られたそのとき——

主は地の奥深くへと下り、ノアの時代に悔い改めなかった者たち、

監獄に捕らわれた霊たちのいる階段を下って行かれました。そしてその扉を叩き、こう告げられたのです。「あなたがたは、預言者たちの語ったメッセージを聞くべきであった。」

19 主はさらに深く地獄へと下られ、扉を叩かれました。サタンが扉を開けて言いました。「おお、ついにここまで来たのか！アベルを殺したとき、確かに前を滅ぼしたと思った。ダニエルを獅子の穴に投げ入れたとき、またヘブルの若者たちを燃える炉に入れたときも、前を閉じ込めたと思っていた。だが、どうやら前は彼らの中にもいたようだ。ヨハネの首をはねたときにも、カルバリーの十字架にかけたときにも、完全に勝利したと思っていた。だが今、ここにお前がいるとは！」すると主は、厳かにこう言われました。「サタンよ、わたしは処女から生まれた神の御子である。わたしの血はいまも、あの十字架から滴り落ちている。わたしは、支配を取り戻すためにここへ下って来た。お前は人々を恐れさせ、脅かし、闇の中に追いやってきたが、もうそれは終わりだ。死と地獄の鍵をわたしに渡せ！」主はその鍵をサタンの脇から奪い取り、ご自身の脇に掛けられました。そして上へと昇り、もう一つの階段を上って行かれました。その先からは、歓声と賛美の音が響いていました。そこにはアブラハム、イサク、ヤコブ、サラ、リベカ、イザヤ、エレミヤ、そしてすべての預言者たちが立っていました。

主が扉を叩かれると、中から声が出ました。「どなたですか？」アブラハムが扉を開けると、歓喜の声で叫びました。「見よ、アブラハムの子孫！ダビデの根であり、その子孫！そしてイザヤが見た——手によらず山から切り出された石がここにある！」

20 主は言われました。「あなたがたは信じていたが、山羊や雌牛の血では罪を取り除くことはできなかった。それらはただ罪を覆っていただけだ。しかし、わたしの血は罪を完全に断ち切り、永遠にそれを取り除いた。さあ、これからわたしたちは家に帰るのだ。エルサレムに夜明けが近づいている。そろそろ出発しよう。」

そのときアブラハムが言いました。「主よ、エルサレムを通るときに、少しだけ『途中停車(ホイットル・ストップ)』してもよろしいでしょうか？古い町の様子をもう一度見てみたいのです。」アーメン！ブラナム兄弟は、にこやかにこう付け加えました。——そのような同じ歓声が、この墓地のあちらこちらからもいつの日か響

き渡るでしょう。「主よ、少し途中で止まっていたいただけますか?」と。

すると主はこう言われるでしょう。「わたしは弟子たちと少しの間、この地で話をする予定だ。ここで四十日ほど、あちらこちらを見て回ることにしよう。」

そして、イースターの朝——主が墓から出てこられたとき、聖書(マタイ27章)にこう記されています。「地の塵の中で眠っていた多くの聖徒たちが甦り、墓から出て、町に入り、多くの人々に姿を現した。」

21 カヤパ(大祭司)の姿が見えます。アブラハムとサラが、若々しい姿でエルサレムの街を歩いているのが見えます。古い町並みを眺めながら歩く二人を見て、祭司が言います。「あの人たち……どこかで見たような気がする。」そして次の瞬間、彼らは主イエスが壁を通り抜けられたように、ふっと姿を消しました。同じ「栄光のからだ」をまとっていたのです。そうです、兄弟姉妹。ペンテコステの前——

主が高く天へ昇られるとき、聖書はこう語っています。「主は昇られ、彼らも共に昇った。」私はその光景を思い描きます。主が月を越え、星々を越え、旧約の聖徒たちとともに、神の御前へと上っていかれる姿。彼らがどこまでも遠く——

どんな望遠鏡でも届かないほどの天の果てに近づくと、そこには**都(シティ)**が見えてきます。そのとき旧約の聖徒たちの声が響き渡ります。「門よ、頭を上げよ。永遠の戸よ、開け。栄光の王を迎えよ!」すると、遠くで天使たちの合唱が応じます。「この栄光の王とは誰か?」すると声が返ってきます。「万軍の主、戦いに力ある主。その方こそ栄光の王である!さあ、門を開けよ!」

22 天使たちが天の扉を開くスイッチを押すと、大きな門が勢いよく開きます。

そしてそこを進まれるのは——勝利の主イエス・キリスト。「とりこになった者たちを解放し、人々に賜物を与えられた方」(エペソ4:8)です。主は旧約の聖徒たちを従え、天のエルサレムの通りを歩き、まっすぐに神の御座へと進まれます。

そして言われます。「ここに彼らがいます!彼らは忠実でした。そして、わたしは下って行って彼らを贖いました!」そのとき御座から声が響きます。「ここに上って来なさい。わたしの御座に座りなさい。わたしがあなたのすべての敵をあなたの足の下に置くまで、ここにおられるがよい。しかし、ある日あなたをもう一度地に遣わさねばならない。」——ハレルヤ!そうです、兄弟姉妹。私はこれを信じます。彼こそが、世の罪を取り除く神の子羊です。なんと麗しいお方でしょう!

主はこの地上で行われたすべての御業を、いまやご自身の教会にその力として委ねられました。しかし教会は、その力にまだ気づいていないのです。

23 私は、これまで三度世界を巡る旅をする中で、聴衆の中に二つのタイプの人々がいることに気づきました。一つはファンダメンタリスト(聖書主義者)、

もう一つはペンテコステ派です。ファンダメンタリストたちは、自分たちの立場をよく理解しています。しかし、そこに信仰の力があまり伴っていません。

一方、ペンテコステ派の人々は、信仰においては豊かで燃えています。

けれども——自分たちが誰であるかをよく知らないのです。それはまるでこういうことです。ある人は銀行にたくさんのお金を持っているのに、小切手の書き方を知らない。そしてもう一人は、小切手を書くことはできるけれど、銀行にお金がない。——この二人が一つになれば、完全なのです。もしも教会が、自分たちが何者であるかを悟るなら、すべてが変わるでしょう。あなたがたは神の息子・娘たちであり、御国の相続人なのです。今すでに、私たちは王として立っています。ですから、自分の法的権利を主張しなさい。サタンに何かを押しつけられてはなりません。彼には、それを保持する権利など一つもないのです。

24 多くの人はいつも自分の症状ばかり見えています。牧師が祈っても、こう言うのです。「うーん……あまり良くなった気がしない。」しかし、それは癒しではありません。症状というのは、悪魔が持つ最大のかかしの一つです。——人を怖がらせるための見せかけです。症状には、実際には何の力もないのです。大切なのは、神がそう言われたからです!もしこの世で「症状だらけ」の状況を経験した人がいるとすれば、それは預言者ヨナでしょう。彼こそ、最悪の状況にいました。神から背を向け、手を縛られ、鯨の腹の中におり、海の底深く、嵐の海のただ中で、

海藻が首に巻きついていたのです。これ以上の「症状」があるでしょうか？右を見ても鯨の腹、左を見ても鯨の腹、どこを見ても鯨の腹。けれども彼はこう言いました。「これらは偽りの幻(lying vanities)だ。私はもうこの鯨の腹など見ない。再びあなたの聖なる宮を見上げます、主よ。」——すべては、何を見るかにかかっているのです。もしあなたが自分の症状を見ているなら、症状はそこに居座り続けるでしょう。けれども、神の御言葉を見上げるなら、症状は消え去らねばなりません。ヨナがそうできたのは、彼が神の約束を覚えていたからです。

ソロモンが神殿を奉獻したとき、こう祈りました。「主よ、もしあなたの民がどこで苦しんでいても、この聖なる宮を仰ぎ見て祈るなら、天からその祈りを聞いてくださいますように。」ヨナはそれを信じたのです。

25 ヨナは、神がソロモンの祈りを聞かれたことを信じていました。もしもあのような絶望的な状況の中で、ヨナが「神はソロモンの祈りを聞かれた」と信じることができたのなら——ましてや、私たちはどうでしょうか。私たちは今、もう一度神の聖なる宮を見上げることができます。そこには、イエス・キリストが天の御座の右に座しておられるのです。そのお方は、ご自身の血をもって永遠の贖いを成し遂げられました。「主よ、もう一度、あなたの聖なる宮を仰ぎ見ます。」

——そうです。神はヨナを三日三晩生かし、ついに彼を本来行くべき場所、ニネベへと運ばれました。なんと不思議な御業でしょう！さて、「症状」というのはまるでこういうものです。——朝、あなたの家に郵便配達員や宅配の係員がやって来るとしましょう。「ミス・ジョン・ドウ(仮名)さんですか？」「はい、そうです。」「あなたにお届け物があります。」そう言われて、あなたがその箱を見ると、大きな箱の中にはガラガラ蛇がいっぱい詰まっているのです。あなたは驚いて言います。「まあ、そんなもの、要りません！」すると配達員が言います。「でも、これはあなたのものです。誰かが送ったんですよ。」「いいえ、私はそんなもの受け取りません。」と、あなたははっきり言うでしょう。

26 配達員が言います「でも、ミス・ドウ、ここにあなたの名前が書いてありますよ。誰かがあなたに送ったんです。だから、あなたのものですよ。」そして彼は、あなたにその箱を受け取らせようと必死になります。たしかに、ある意味ではそれはあなたのものです。しかし、別の意味ではあなたのものではありません。

それは、あなたが署名をして受け取らない限り、あなたのものにはならないのです。もしあなたが署名を拒否すれば、配達員はそれを持ち帰り、送り主のもとへ返送しなければなりません。——これと同じです。悪魔が持ってくるものには、絶対にサインしないでください。受け取ってはいけません。病気、苦しみ、痛み——それらは悪魔が送ってきたものです。ですから、あなたはこう言うのです。「いいえ、そんなもの、要りません。署名しません。悪魔が言ったことなど、私は証言しません。私が証言するのは、『主の打たれた傷によって、私は癒された』ということです！」(イザヤ53:5)一兄弟姉妹、それを言えば、悪魔はそれを持って引き下がるのです。

27 「でも、ブランナム兄弟……確かにそこにあるんですよ。見えるんですよ。」

——そう言うかもしれませんね。たしかに、ガラガラ蛇(問題)もそこに見えます。あなたの名前がその箱に書かれているかもしれません。サタンは、あなたにがんや死の印をつけようとしたかもしれません。しかし、それを見ようとしてははいけません。こう言いなさい。「いいえ、主の打たれた傷によって、私は癒されました！」(イザヤ53:5)「証しをする」というのは、「同じことを言う」という意味です。裁判で証言するなら、自分が見たこと、真実を語らねばなりません。同じように、神に証しするというのは、神が語られたことと同じことを言うという意味です。神はこう言われました「主の打たれた傷によって、あなたは癒された。」

だから私も、そう言います。「私は信じます。アーメン！」——子どもたちよ、よく聞いてください。神の御言葉は、どんな場所でも、どんな状況でも、いつでも、サタンを打ち負かすことができます。主イエスが地上におられたとき、

確かにそのうちには神ご自身が宿っておられました。「神はキリストのうちにおられ、世を御自身と和解させられた」のです。しかし主は、その神としての特権を一切使われませんでした。サタンと対面されたとき、主は神の国の権威を最も低いレベルまで下げ、最も弱いクリスチャンでも使えるようにされたのです。サタンが言いました。「もしあなたが神の子なら、この石をパンに変えてみなさい。」

主は言われました。「それは書いてある。」——御言葉です！サタンがさらに主を誘惑し、御言葉を曲げて見せました。しかし主は答えられました。「また、こうも書いてある。」さらにサタンは、主を山の頂上に連れて行きました。「見よ、これらすべての国々をあなたにあげよう。ただ私を拜むなら。」すると主は再び言われました。それは書いてある！——そこにすべての勝利があります！

28 そして、「祈るときに望むものは何でも、受け取ったと信じれば、それを手に入れる」と書かれています。そして、神の言葉でサタンを打ち負かしてください。あなたは言います、「それは書かれています！神は私に約束されました。私は教会に行き、牧師は私に油を塗って私のために祈りました。私は祈られました。」それはまさに神が起こると言われたことです。そして、それは書かれています....それを持っていることを拒否するだけですぐに行ってください。神はそれを実現させます。

さて、日々....読書の少し前に...または、ここで締めくくりに、ちょっとした礼拝。それから私たちは祈りをするつもりです。主が来る直前のシメオンの時代を見てください。まるでこのような一日のようでした。寒くて無関心。私たちはアメリカが素晴らしいリバイバルを持っていると話している。どこにあるのかわかりません。まだ見たことがありません。

29 ある著名な伝道者が、少し前にこの国を巡回しました。彼は六週間にわたるリバイバル集会を行い、「二万人が救われた」と報告しました。ところが二か月後にその地域を再び訪れると、残っていたのはわずか二十人ほどだったのです。——いったい何が問題なのでしょう？彼らはただ、「イエス・キリストをあなたの個人的な救い主として受け入れましょう」と言って、それで終わりにしていたのです。けれども、兄弟姉妹、それだけでは足りません。人は新しく生まれなければならないのです。(ヨハネ3:3)人の内に、超自然的な出来事が起こらなければなりません。神学(theology)は悪くありません。心理学(psychology)も役に立つことがあります。しかし、それらは神の力の代わりにはなりません。主イエスはこう言われました。「終わりの日には、人々は敬虔さの形を持ちながら、その力を否定するようになる。そのような者たちから離れなさい。」(IIテモテ3:5)

——私たちはまさにその時代に生きています。さて、シメオンという老人がいました。彼はおよそ八十歳、人々から高い評判を得ていた敬虔な人物でした。

聖霊は彼にこう約束されていました。「あなたは主のキリストを見るまでは、決して死なない。」——それなら、彼が証しする理由は十分にありますね。シメオンはその約束を信じ、自分の同胞たちに語り始めました。「私は死ぬ前に、キリストを見ると聖霊が言われた！」しかし周囲の人々は笑いました。「あのシメオン爺さん、ついにおかしくなったらしい。もう頭がどうかしてしまったんだよ。だって、私たちは四千年もの間キリストを待ってきたんだ。この混乱した時代に、キリストが来るはずがあるか？」

30 しかしシメオンは言いました。「聖霊が私にそう語られたのだ。」彼はそれを信じ、少しも恥じませんでした。人々に向かって、「私は死ぬ前に、聖なる御子を見る」と語り続けました。当時は今のようにニュースが広まる時代ではありません。ラジオも新聞もありませんでした。そのころ、東の国で博士たち(マギ)が空を観察していました。彼らは一つの星が天を横切るのを見たのです。しかし不思議なことに、他のどの天文台の学者も、その星を見ませんでした。夜空を研究していた星占い師たちも見逃したのです。——なぜでしょう？彼らは期待していなかったのです。けれども、この博士たちは違いました。彼らは、かつてバラムが語った預言——「ヤコブから星が上る」(民数記24:17)——を信じ、それを探していたのです。ハレルヤ！いつも言えることですが、人は、自分が期待しているものを得るのです。もしあなたが集会に来て批判するつもりなら、悪魔は必ず、批判できる何かを見せるでしょう。しかし、癒しを求めて来るなら、神は必ずそれを与えられるのです。あなたが「これを期待している」「あれを期待している」と言うなら、神はその期待に応えてくださいます。博士たちはその星を期待していたので、それを見たとき、すぐに従って行ったのです。星は他の人々の上を通り過ぎましたが、誰一人として気づきませんでした。そのとき、丘の上で羊飼いたちが羊の番をしていました。イエスが生まれたその夜、彼らは都に来て、天使たちの歌声を聞きました。なぜなら、王の誕生のときには、いつも賛美の歌が響くからです。天の御使いたちは、**天の欄干(らんかん)**に身を乗り出し、神の栄光を歌いました。「いと高き所に栄光が神にあれ、地には平和、御心にかなう人々に善意あれ。」(ルカ2:14)

31 それから博士たちは町の中へ入って行きました。当時は、特別な興奮や喧騒といえば、それを待ち望んでいた一般の人々の間だけにありました。さて、次に起こったことを見てみましょう。それから八日後のことです。ユダヤの律法によれば、生まれた子は八日目に割礼を受け、母親は清めの捧げ物をしなければなりません。裕福な家庭であれば、一頭の小羊を捧げることができました。

しかし、貧しい者の捧げ物は、たった二羽の**山鳩(または家鳩)**でした。

ここで少し情景を描いてみましょう。——それは月曜日の朝。八日目。

当時、パレスチナにはおそらく二百万人ほどのユダヤ人がいました。

ですから、毎朝百五十人から二百人ほどの女性が、割礼と清めの儀式のために並んでいたことでは

う。その朝、神殿の周りには長い列ができ、多くの女性たちが赤ん坊を抱いて立っていました。その列のあちこちでは、小羊を連れて順番を待つ人の姿もありました。赤ん坊たちは、ピンクや青の刺繍入りの絹の布で美しく包まれています。裕福な家庭の子どもたちです。ところが——その列のずっと向こうに、ひとりの若い女性が立っていました。その姿は、まるで今日の聖霊の教会を思わせます。小さく、世間から軽んじられ、あまりよい評判を持たれていません。彼女の名はマリア、十七歳ほどの若い処女でした。ヨセフという男に婚約しており、腕にはひとりの赤ん坊を抱いていました。周囲の人々は彼女を指さして言いました。「あの子を見なさい。なんて粗末な包み方だろう。他の赤ちゃんは絹の布で包まれているのに、あの子は**布切れ(スワドリグクロス)**に包まれている。」その布は、牛のくびきに掛けるための布きれでした。馬小屋には他に包むものがなかったのです。だから、彼らはその牛のくびき布を外して、それで救い主を包んだのでした。

32 彼女は手に二羽の山鳩を持っていました。それは、貧しい人のためのささやかな捧げ物でした。けれども、その腕に抱かれていたのは——王の王、主の主だったので。他の人々は皆、距離を置いていました。彼らは「自分たちはあのような者とは違う」と思っていたのです。——まるで今日の人々と同じです。その頃、神殿の奥の祈りの部屋には、シメオンという年老いた祭司が座っていました。

聖霊は彼にこう約束しておられました。「あなたは主のキリストを見るまでは、決して死なない。」彼は巻物を読んでいました。イザヤ書9章6節です。「ひとりのみどりごが、私たちのために生まれる。ひとりの男の子が、私たちに与えられる。」

その瞬間、聖霊が彼に語りかけました。「立ちなさい、シメオン。」

そうです。聖霊が約束されたなら、聖霊ご自身が導かれるのです。

シメオンは立ち上がり、言いました。「はい、主よ。」

33 聖霊が言われました。「歩きなさい！」シメオンは立ち上がり、歩き始めました。

どこへ行くのか、自分でもわかりません。聖霊が導いておられるのです。

あなたは聖霊の導きを信じますか？彼は神殿の中を歩き、群衆の中をすり抜けて進みました。女性たちが並んでいる列の方へと歩いていきます。——聖霊の導きによって。そして、列の中ほどで立ち止まりました。そこにいたのは、あの軽んじられた若い女性——マリアでした。彼はその顔を見上げ、腕に抱かれた赤ん坊をそっと受け取りました。それは、布切れ(スワドリグクロス)に包まれた赤ん坊でした。彼のあごひげには涙が伝い落ちました。そして彼は声を上げて言いました。「主よ、あなたのしもべを安らかに去らせてください。あなたの御言葉どおりに。私の目は、あなたの救いを見たのです。」(ルカ2:29-30)

——聖霊が、確かに彼を導いたので。そのとき、神殿の隅の方には、

もう一人の老人が座っていました。彼女の名はアンナ。目の見えない女預言者でした。昼も夜も神殿を離れず、祈りに生涯を捧げていました。

彼女もまた、**イスラエルの慰め(救い主)**を待ち望んでいたのです。

34 聖霊が言われました。

「アンナ、立ちなさい！」

すると、盲目の女預言者アンナが立ち上がりました。

彼女は見えない目で、人々の間を縫うように歩き始めました。

——聖霊に導かれて。

そしてまっすぐに、

シメオンが立っているところへとたどり着きました。

彼女は手を高く上げ、

神を賛美しました。

——聖霊によって導かれたのです。

聖霊は二つではありません。

聖霊はただひとつ。

その同じ聖霊が、

シメオンを導き、アンナを導いたのです。

そして今夜、ここにいるあなたがた——

病を抱えた人々——

そのあなたを導いたのも、まさに同じ聖霊なのです。

あなたはどこかに癒しの泉があることを信じて来られました。

——その泉はここに 있습니다。

神は今も、信じる民のただ中を動いておられるのです。

私は思い出します。

あるとき、フローレンス・ナイチンゲールのことがありました。

私たちがロンドンに着いたときのことです。

彼女の写真を最初に見たのは、ヒューストンにいた時でした。

(その写真は今、皆さんが見ているあの本にも載っています。)

フローレンス・ナイチンゲール——

彼女の祖母は赤十字社の創設者でした。

彼女は私に何通もの手紙と、

3~4枚の飛行機のチケットを送ってくれました。

行き先は南アフリカのダーバン。

しかし、彼女の身体はもう骨と皮ばかりでした。

十二指腸の癌が胃を覆い尽くし、

国内最高の外科医たちも手の施しようがなかったのです。

彼女は涙ながらに助けを求めていました。

私はその時、主に申し上げました。

「主よ、もしあなたが彼女を癒してくださるなら、

いつか必ず、私は彼女のもとへ行きます。」

35 私はイングランドへ渡りました。そこへ行く少し前、国王から電報(ケーブルグラム)が届いていたのです。「多発性硬化症のために祈ってほしい」という要請でした。きっかけは、フォートウェインのレーマン氏が癒されたという知らせでした。私は国王にこう伝えました。「私はただ祈り、主が仰せになることしかできません。」レーマン氏は、その集会に出席していました。彼は十年間も寝たきりの状態だったのです。私が会衆の中を見渡すと、彼が歩いている幻(ビジョン)が見えました。私は彼に向かってこう言いました。「ご主人、主イエスがあなたを完全に癒されました。立ちなさい!」するとその男は、十年間寝たきりだったのに、自分の足で歩き出し、会場の通路を歩いて行ったのです。彼は国王ジョージの秘書官の友人で、私は彼から王室の印章と書簡を受け取りました。そしてなんと、その翌日には彼は18ホールゴルフをプレーしたのです。前

日までは、五分と立っていられなかったというのに。——「アメージング・グレース、なんと甘美な響き！」その後、私は国際空港で呼び出しを受けました。マネージャーのひとり、バクスター氏が急いでやって来て言いました。「フローレンス・ナイチンゲールが、ほんの数分前に飛行機で到着しました。彼女は飛行機の中で死にかけています。」空港には何千人もの人々が集まっており、私は近づくこともできませんでした。そこで、私は英国国教会の牧師にこう言いました。「彼女をあなたの牧師館に連れて行ってください。私は今からウェストミンスター寺院に行きます。その後、バッキンガム宮殿に参ります。それが終わったら、あなたのところに伺います。」結局、私は彼女に会えたのは翌朝のことでした。

36 彼ら(牧師たち)が私を迎えに来て、私は彼女の部屋へ入りました。

——クリスチャンの皆さん、もしあなたがあの光景を見ていたら、

決して忘れることはできなかつたでしょう。そこには、およそ身長180センチ近い女性が横たわっていました。部屋に入ったとき、彼女はもうまったく動くことができませんでした。手も、体も、ただそのまま静止した姿で横たわっていたのです。そこには主治医、二人の看護師、そして数人の英国国教会の牧師たちがいました。彼女は唇を動かして、何かをつぶやいていました。しかし、その声はかすかで聞き取れませんでした。やがて彼女は、私と握手をしたいと言いました。

看護師がそっと彼女の手を持ち上げ、私の手の中に置きました。それはまるで、

骨そのものに触れたような感触でした。私は思い出しました。

——インディアナ州ミルトアウンのジョージ・カーターという娘のことを。

彼女もまた、私がこれまで見た中で最も痩せた少女でした。

癒される前、彼女の体重はわずか**30ポンド(約13.5キロ)**しかありませんでした。けれども神が彼女を幻(ビジョン)の中で癒されたのです。

そして今では、彼女は私の集会でピアノ奏者として奉仕しています。

37 私は彼女を見つめました。なんという光景でしょう! 私たちと同じように、この地上に生きるひとりの人間——彼女の手を握っていると、胸に深い思いがこみ上げてきました。彼女は何かを言おうとしていました。看護師が耳を近づけて聞くと、彼女はこう言いました。「ブラナム兄弟に……私の体を見てもらいたい。」

そうして看護師がシーツを下ろしました。——私はここに男女混じる会衆の中で語っています。皆さんも医師に見せるように、私も兄弟として敬意をもって話します。彼女の胸は肋骨の間まで落ち込み、胃のあたりはほとんど平らになっていました。癌が彼女の体を食い尽くし、腰の輪郭(骨盤)の部分では、皮膚が内側の骨に貼りつくようにつぶれていました。彼女の脚は細い棒のようで、まったく動かすことができませんでした。静脈はすでにつぶれてしまっていたのです。

彼女は看護師に頼んで、私にこう伝えました。「神様をお願いして、どうか私を死なせてください。」——そうです。彼女は死にたくても死ねない状態だったのです。

38 私は彼女を見つめました。その四角い頭蓋骨——肉がすっかり落ち、骨が露わになっていました。それでも、彼女の目からは涙が流れていました。

私は思いました。「いったいどこに、涙を流すだけの水分が残っているというのだろう?」言葉をかけることはできませんでした。看護師が言いました。

「ブラナム師、彼女はとても信仰深い方です。あなたの冊子や書物を読んでおられました。アフリカにおられた時、『もしブラナム師のもとに行けるなら、

神は必ず自分を癒してくださる』とそう信じておられたのです。」

私は胸の中でつぶやきました。「ああ、主よ……」

私はただ、イングランド中を巡って歩いていた者に過ぎません。

それでも主は、彼女をここに導かれたのです。私は言いました。

「もちろん、私は彼女のために祈ることはできます。しかし、神に『彼女を死なせてください』とは祈れません。」そして周りの方々に頼みました。

「皆さん——お医者様も、牧師の先生方も——共に跪いて祈ってくださいますか？」そこにはバクスター兄弟、ゴードン・リンジー兄弟、そして皆さんもご存じの多くの兄弟たちがその場にいました。私たちは全員でその部屋にひざまずきました。——その頃のイギリス(四月)は、ご存じのように濃い霧に包まれる季節です。その部屋は二階で、牧師館の隣にある大きな英国国教会の教会の一室でした。私は窓辺にひざまずき、祈り始めました。「天にまします我らの父よ……」

そのときでした。何かが茂みをかすめて飛んで来たのです。見ると、それは一羽の小さな山鳩(タートルダヴ)でした。その鳩は窓の縁に止まり、私の方をじっと見下ろすと、そのまま窓の端から端へと歩き始め、「クークー、クークー……」と鳴き続けました。私は祈りを続けました。他の牧師たちは、鳩の鳴き声を聞いて静かに祈りを止めました。しばらくして私が「アーメン」と言って顔を上げると、その小さな鳩は翼を広げて飛び去っていきました。すると牧師のひとりが言いました。「今の鳩……ご覧になりましたか？」

39 私は言いかけてました。「ああ、はい。あの鳩を見ました……」

——その瞬間、私の声が変わったのです。

そして、私の口を通して言葉が出ました。「主はこう仰せられる——この女性は死なず、生きるであろう。」その後……彼女は完全に回復し、体重は155ポンド(約70キロ)にまで戻りました。今では完璧な健康体です。なぜでしょうか？——信じる者には、すべてが可能だからです。彼女は飢え、渇き、そして信じたのです。

その信仰を、神は決して退けられませんでした。そして、神は今夜ここにいるあなたも退けられません。彼女の写真は書籍の中に掲載されています。住所も、証言も、すべて記録されています。——それは何千もの奇跡の中のひとつにすぎません。(ブラナム兄弟が舞台を見上げる)「リタ姉妹、よろしければ『主よともにいてください(Abide With Me)』を弾いてください。」……主は今夜もここにおられます。そう信じますか？——頭を垂れて祈りましょう。

命の与え主、偉大なるエホバ・イルエ(主は備えられる神)よ。罪人のために備えられた犠牲、エホバ・ラファ(主は癒し主)よ。病める者のための犠牲を備えられた方、エホバ・マナセ(主は我らの喜び・盾・守り)よ、今、イエス・キリストの御名によって近づいてください。聖霊よ、この会衆を包んでください。私たちはいま、何か重大な時、時代の終わりに近づいています。私たちは福音を宣べ伝える使命を負う者です。それが私たちにできる唯一のことです。神よ、この夜、御言葉を聞くために集まったこの小さな群れを祝福してください。御言葉が語られるとき——「信仰は聞くことによって生まれる。聞くことは、神の御言葉によって来る。」(ローマ10:17)

40 主よ、今夜この人々を豊かに祝福してください。

すべての罪——すなわち不信仰——を取り除いてください。

この会衆の中に、純粹で、聖く、混じりけのない信仰だけが満ちあふれますように。

聖霊がこの場におられ、

すべての病める者に癒しの御声を、

すべての疲れた魂・悩める魂に平安の御声を語ってくださいますように。

この集会を通して、

神だけが栄光をお受けになりますように。

——主イエス・キリストの御名によって祈ります。アーメン。

(会衆に向かって)

リード兄弟が皆さんにお話ししたように、

私たちは祈りのカード(祈願票)を配っています。

これは単に祈りの列を整えるためのものです。

実際には、

壇上でひとりが癒されている間にも、会衆の中で十人が癒されているのです。

覚えておいてください。

——私には癒す力はありません。

神がそれを御存じですし、

皆さんもよくご存じのはずです。

人間のうちには、誰一人として

他人を癒せる力を持つ者はいません。

医者でさえ、自分を「癒す者」とは言いません。

彼らが言うのは、

「私たちはただ、自然(神の働き)を助けるだけです。」

ということです。

神こそが真の癒し主なのです。

私はかつて、メイヨー兄弟(Mayo Clinic)に二度招かれましたが、

彼らも同じことを言いました。

「ブラナム師、私たちは癒し主ではありません。

私たちはただ、自然(神の御業)を助けるのです。」

41 神は医者たちをこの地に置かれました。

彼らは、自分に与えられた務めを果たしています。

——それは正しいことです。

しかし、彼らにできるのは、

骨を整えること、歯を抜くこと、あるいは手術で取り除くことなどです。

けれども、

それ自体が癒しではありません。

医者は骨を正しい位置に戻すことはできますが、

その骨を再び成長させるのは神です。

医者は歯を抜くことができますが、

抜いた跡を癒すのは神です。

医者は盲腸を取り除くことができますが、

切開された組織を癒すのは神なのです。

薬は新しい組織を作ることはできません。

薬がするのは、神が癒される間、その部分を清潔に保つことだけです。

そして、私は説教者として、
ただ神の代表者として皆さんのために祈るのです。
私は神からの賜物と聖霊の油注ぎによってその務めを果たしています。
今夜、皆さんもその光の写真を本の中でご覧になったでしょう。
あの写真をもっとたくさん持って来られたらよかったです、
実はあれは自分で買い取って配っているのです。
写真も本も、私の所有物ではありません。
それでも、私はそれを人々に分かち与えるのです。
もしあなたがあのイスラエルの民を導いた火の柱を見たなら、
——それと同じ御方が、今ここにおられます。

彼こそが契約の天使、主イエス・キリストです。

そして、

その主が今もここにおられるのです。

42 さて、主はすべてのことをご存じです。

けれども、私は何も知りません。

主はあなたを完全にご存じですが、

私はあなたを知りません。

この会堂の中で、

私が今夜、顔を見て覚えているのは、

シェプリー兄弟と姉妹——ここに座っておられるお二人だけです。

それからグローバー兄弟、あの後ろの席におられますね。

その方々は覚えています。

それ以外の方々は、

もしかすると以前どこかでお会いしたかもしれませんが、

今この瞬間、私のはっきりと認識できる人は一人もいません。

しかし——

神はあなたがた一人ひとりを完全に知っておられます。

あなたがこれまでに口にされたすべての一口の食べ物を、

神が備えてくださったのです。

あなたがこれまでに飲んだすべての一杯の水を、

神が与えてくださったのです。

そして、あなたがこれまでに吸い込んだすべての息も、

神から与えられたものなのです。

43 さて——主はここに立たれ、もしあなたの人生の中に罪や、何か病の原因となるものがあるなら、それを明らかに示すことができます。そのときは、

あなた自身がそれを正さなければなりません。しかし、癒しというのは、あなた自身のキリストへの信仰によってのみ成し遂げられるものです。ちょうど、伝道者が福音を説き、あなたがそれを信じて救われるように、同じように——神の癒しも、信じることによって受け取るのです。

祈りのカード(祈願票)をお配りする正当な方法は、毎日新しいグループに配ることです。たとえば、もし昨日の分だけ配ってしまい、昨日の番号の人から順に呼んでいたら、今夜新しく来た人たちは祈りの列に入ることができません。

ですから私たちは、毎日新しいグループにカードを配り、その中のある番号の範囲から数人を呼び上げ、聖霊の油注ぎが始まるためのきっかけとします。

そしてその後、

聖霊は会衆全体へと働きを広げていくのです。

今夜、

この会衆の中にいるすべての人に申し上げます。

私は、主イエス・キリストの御名によって、

あなたの信仰に挑みます。

44 もし、私があなたがたに語っていることが

混じりけのない神の御言葉に基づく真理であると信じるなら、

どうか今夜、こちらを見てこう言ってください。

「ブラナム兄弟、私はあなたの話が真実だと信じます。

そして、あなたが語っていることが真実であると、神を信頼します。」

友よ、

この働きは世界中の何百万という人々の前で試されてきました。

だからこそ、これは真理でなければならないのです。

悪魔が持つあらゆる「火の炉」で試されてきました。

しかしそのたびに、神が勝利をもって導かれたのです。

それは、このメッセージが神のものだからです。

私は今夜、あなたがたに語っています。

七年前、ここで語ったのとまったく同じことを。

そして今、私は三度目の世界巡回を終えようとしています。

けれども、もし私たちが栄光の門で再び会うことがあれば、

そのときも私はまったく同じ証言をするでしょう。

少しも変わることはありません。

ただ——

その証しはますます大きくなり、力強くなり、
主イエスが来られるその日まで輝きを増していくのです。

45 さて、昨夜は最初の番号の祈りのカードからお呼びしました。

今夜は、後ろの方の番号——おそらく八十五番から百番までをお呼びしましょう。

祈りのカード八十五番をお持ちの方、手を挙げてください。

八十五番……。

(少し確認して)もしかして、五十番から百番まで配られましたか？

では、八十五番、八十六番、八十七番、八十八番、八十九番、九十番……そして百番まで。

そのあたりの方々に来ていただきましょう。

私たちは一度に十人から十五人ほどしかお呼びできません。

(「十五人くらい大丈夫ですか？列を保てますか？」)

——はい、それでは八十五番から百番までにしましょう。

昨夜は十人だけでしたから、今夜は十五人ほど試してみましよう。

あまり長い列になると大変ですからね。

もし、あなたの近くに祈りのカードを持っている方がいたら、

その人のカードの番号を見てあげてください。

もしかしたら耳の不自由な方がいて、呼ばれていることに気づかないかもしれません。

その場合、そっと教えてあげてください。

さあ、皆さんの祈りのカードを確認してください。

番号が呼ばれている方は、前の方へ進んでください。

46 さて——この中で、祈りのカードを持っていないけれど、祈ってほしいという方はどのくらいいらっしゃいますか？どうぞ、手を挙げてください。

「私は祈りのカードを持っていません。呼ばれている番号でもありません。

けれども、祈ってほしいのです。」——そう思う方は、手を挙げてください。

はい、ありがとうございます。さて、ここで私は皆さんに挑戦します。

まずは、先ほど番号をお呼びした方々からお立ちください。

(おそらく、少し時間をいただければ、祈りのカードをお持ちの方々にも順に祈ることができるでしょう。)そして……私の前に座っておられるこの赤ちゃんを抱いたお父さん、あなたも祈りのカードをお持ちですね。では、どうぞこちらに来てください。この右手の側の列に並んでください。

47 さて皆さん、これから病の方々のために祈りますので、どうか心から静まり、敬虔な気持ちでおいてください。本当に静かに——主の御前に心を整えてください。そして、今、列に並んでいる間に、会衆の皆さん——どうかこちらをご覧ください。もし、あなたが敬虔に心に向け、私が語ったことが真実だと信じるなら、そして、全能の神がここにおられ、その御言葉を確かにされる方であると信じるなら——聖霊がこの会衆の中に動かれ、あなたはその場に座ったままでも癒されるでしょう。それを信じますか？信じる方は手を挙げてくだ

さい。

はい……多くの手が上がっていますね。これまでの集会に出席して、

聖霊がなされたことを見たことのある方はどれくらいおられますか？……そうですね。では、あなたがたはもう見知らぬ人ではありません。

聖霊がどのように働かれるかをご存じです。それでは——祈りましょう。

頭を垂れてください。

48 主イエスよ——今、祈りの列が前へと進み出ようとしています。主よ、私はここに立っていますが、自分自身では何ひとつできないほど無力です。あなたがおられなければ、私たちは何もできません。しかし——あなたと共にあるなら、すべてのことが可能です。父なる神よ、今夜、どうかあなたのしもべを助けてください。神よ、私のそばにいてください。今、私はあなたを必要としています。

私は今、あなたの愛する御子、キリスト・イエスを代表してここに立っています。どうか来てください、聖霊よ。神の使い(みつかい)が今ここに近づいてくださいますように。どうか会衆のひとりひとりが完全に御前に服し、聖霊がこの会場全体を満たし、今夜、この集会が終わるとき、弱っている人がひとりも残されることのないように——神よ、あなたのしもべの祈りをお聞きください。

心を尽くして祈り求めます。主イエス・キリストの御名によって。アーメン。

49 さて皆さん——この時間は特に敬虔な気持ちでお過ごしいただきたいと思います。この礼拝の部分では、できるだけ静かに、心を主に向けてください。

数日間この集会が続く中で、私にとっても、こうした形は少し新しいのです。

というのも、今はいつもの働きの仲間たちがここに居ないからです。

私たちには、共に仕える素晴らしいチームがあります。

ボズワース兄弟、バクスター兄弟、シャリット兄弟——

そうした仲間たちと共に、いつも働いているのです。

けれども、私はあなたがたのことが本当に愛おしく、

どうしても立ち寄って「こんにちは」と言いたかったのです。

リード兄弟がこう言ってくれました。

「たとえ説教をしなくても、ただ一緒に座ってくれるだけでいいから来てください。」

——その言葉が、どれほど私を励ましたことでしょう。

「まだ私にはこんなに優しい友がいるんだ」と、心から嬉しく思いました。

トム・メリデス兄弟——多くの方がご存じでしょう——

彼が最近、このあたりで集会を開いたそうです。

そしてこの間、タバナクル(礼拝所)に立ち寄ってくれて、こう言いました。

「ブラナム兄弟、あなたにはまだアーカンソーに何千人もの友がいます。

彼らの多くは今も癒されたまま、元気でいますよ。」

確か、パイン(Pine)とか、その辺りの小さな町——

そう、ウォルナット・リッジ(Walnut Ridge)でしたね。

ここから北へ二十マイルほどの場所です。

あのとき——病院で死にかけていた小さな女の子が癒された場所です。

彼はそこで、再び集会を持っていたのです。

50 ところで——あのときのあの男の方、そしてあの小さな女の子は、

今この会場におられますか？もしここにいたら、ぜひもう一度お会いしたいのです。お名前を失念してしまいましたが……。 (会衆の声：「モーガンです。」)

ああ、モーガン氏ですね。そうでした、モーガン兄弟。ぜひ、あの小さな女の子にもう一度会いたい。このあたり——たしかウォルナット・リッジ (Walnut Ridge) から来られていたのですよね？ええ、そうです。ウォルナット・リッジ。

(会衆：「明日、彼に伝えます。」)ありがとうございます、兄弟。

きっと今では、もう立派な若い女性になっているでしょうね。

あの時のことを、はっきり覚えています。「彼女が死にかけている」と連絡を受け、私はジョンソン兄弟の車に乗って駆けつけました。その途中で、幻(ビジョン)が現れました。水がこう——流れ始めたのです。そして、小さな女の子が水のほとりを歩いているのが見えました。主はこう言われました。

「行って彼に告げなさい——『水は前方で澄んで流れている』と。」

三日後——その女の子は学校に戻っていました。あの時、病院では酸素を送り込みながら「もう希望はありません」と言われていたのに……。けれど、

すべての希望が絶たれたときこそ——主こそが私たちの希望なのです。

ですから皆さん、これからはどうか静まりつつ、祈りの心でいてください。

同時に——心から喜び、主をたたえてください。

51 ですから今——どうか信仰をしっかりと保ってください。心の中に疑いや不安を抱かないように。すべてを脇に置いて、ただこう言ってください。「主よ、今、私は静まってあなたを信じます。どうかこの場で私に語りかけ、私の心に触れてください。私は助けを必要としています。」

これから私は病の方々のために祈ります。

主イエスが今夜、ここにいるひとりひとりを祝福してくださいますように。

皆さんは、できるだけ静かに、敬意をもって座ってください。

祈りを受けた方が神を賛美し、喜びで声を上げるなら——

それは素晴らしいことです。

どうぞそのまま、思いきり主に感謝してください。

そうすることで、あなたの心は自由になります。

けれども——今、私が行っているのは、ある意味で霊的な診断のようなものなのです。なぜなら、私たちは多くの霊のただ中にいるからです。背後にも霊があります。この前の人々にも霊があります。あなたがた全員——霊を宿しておられます。この会場全体が霊の世界のただ中なのです。

その中で、私はただ一つの霊(聖霊)に焦点を合わせなければなりません。

今まさに——主の御使い(みつかい)が近づいておられるのを感じます。

信仰の引き寄せ(faith's pull)が、会場のあちらこちらで始まっているのを感じます。あなたがこう思うかもしれません。「ブラナム兄弟、それはどういう意味ですか？」主イエスも、ある時同じようなことをされました。盲人を癒やされたとき、彼を町の外に連れ出されたのです。また、ヤイロの娘を蘇らせた時には、家の中の人々をすべて外に出されました。ペテロがドルカス(タビタ)を蘇らせた時も、同じようにみなを外に出しまし

た。なぜでしょうか。

それは——神のわざは、本人と神との「静かな一対一の場所」で起こるからです。ですから、今もそれは容易ではありません。しかし、主がここにおられます。

52 さて——今ここに、ひとりの男性が前に来ています。この方ですね……今、こちらに来られているこの方。私は——この方をこれまで一度もお会いしたことがありません。何も知りません。まったくの初対面の方です。

もしかすると、どこかで見かけたことがあるかもしれませんが、記憶にはありません。(私)「以前、どこかの集会で私をご覧になったことがありますか？」

(男性)「はい、コーニングで。」ああ、**コーニング(Corning)**の集会ですね。お名前は何とおっしゃいますか？

(男性)「グラブスです。」グラブス氏(Mr. Grubbs)、お会いできてうれしいです。主の祝福がありますように。

彼は——私にとって兄弟です。もちろん、何千人もの方々とお会いしてきたので、

ひとりひとりを覚えてはられません。でも彼が言うには、

彼はアーカンソー州コーニングでの集会に出ていたとのことでした。

さて、今ここで——私がこの方について何かを知る唯一の方法は、

聖霊が来て、啓示をもって教えてくださることだけです。

もし聖霊がこの方の過去の出来事や、人生のことを示され、

そしてその内容が真実であることを彼自身が知っているなら、

それは間違いなく真理です。そして——もし聖霊が「これから起こること」までも語られるなら、そのとき彼は、「過去のことが真実だった」と分かっているのですから、当然、「これからのこと」も信じるべきです。それが信仰です。

ただし、主が今夜それをなさるかどうかわかりません。

なぜなら、**説教の油注ぎ(アノインティング)**と啓示の油注ぎとはまったく異なるものだからです。説教している時の油注ぎは、「宣言し、力強く語る」ためのもの。しかし啓示の油注ぎは——心を静め、神の声に耳を傾けるためのものです。

ですから皆さん、これからの時間——どうか静まり、敬虔にいてください。

私はこの方と、少しだけ言葉を交わします。それは、彼の霊を感じ取るためです。そのうち、ひとり、ふたりと進むにつれて、聖霊の働きが始まります。

どうかその間、どこに座っておられても、祈りの心でいてください。

席を立たず、動かさず、心を鎮めて——敬虔に、静かに。祈りの中にとどまってください。

53 さて——私はこの方に、主が井戸のそばでサマリアの女に語られたように、

静かにお話ししたいと思います。兄弟、あなたはこのアーカンソー州のあたりで、ずっとお暮らしになっているのですか？(男性が答える)

「ええ、もう五十年になります。」それは素晴らしいですね。

本当に——アーカンソーは良い州です。私はこれまで世界中を巡ってきましたが、

どこへ行っても、「アーカンソー出身の方」に出会う気がします。

そして——このことをはっきりと言いたいのです。今ここでマイクの前に立っているからではなく、主の

御使いが今この壇上におられることを感じながら、

心から申し上げます。世界のどこを探しても、アーカンソーの人々ほど、親切で、誠実で、愛に満ちた人々を見つけることはできません。

彼らは——たしかに、世界で最も裕福な人々ではないかもしれませんが。

けれども、彼らは今もなお、昔ながらのアメリカの信仰の姿勢を

しっかりと保っているのです。神を信じ、正しく生きる。その古き良き徳が、ここには残っています。

今日、ある方が私に教えてくださいました。「ここは禁酒(ドライ・カウンティ)ですよ」と。——それを聞いて、私はこう思いました。「ああ、もし子どもを育てるなら、こんな場所で育てたい。」その通りです。神がこの地を祝福してくださいますように。

54 さて——今あなたの身に、何か不思議な感覚が起こっているのを感じておられるでしょう。でも心配しないでください。それはあなたを傷つけるものではありません。それは——

聖霊(Holy Spirit)がこの場所に近づいておられるしるしなのです。

さきほど皆さんもご覧になったと思いますが、あの「火の柱(ピラー・オブ・ファイア)」の写真——覚えていますか?(彼に向かって)あなたはご覧になったことがありますか?ここにおられる婦人の方、その黄色い本(写真集)を私に手渡していただけますか?ありがとうございます、姉妹。ああ——この写真を、もったくさん持ってくればよかった。

では、「まだ一度もこの“御使い(Angel of the Lord)”の写真を見たことがない」という方、手を挙げてみてください。(会衆が手を挙げる)なるほど、多いですね。

では、こちらをご覧ください。

この写真は——アメリカ写真家協会(American Photographer Association)によって正式に認められたものです。そして現在、ニューヨークの宗教美術館(Religious Hall of Art)に展示されています。これは、世界の歴史の中で唯一、超自然的存在(Supernatural Being)が写真として撮影されたものです。

ここに写っているのが「火の柱」です。ご覧になれますか?そして——ここに署名されているのは、ジョージ・J・レイシー氏(George J. Lacy)、FBI(連邦捜査局)の鑑定部長です。彼が正式に署名し、こう証言しています:「これは写真の錯覚ではなく、実際に存在する超自然的な存在である。」この写真が撮られたとき、三万人の人々がその場にいました。

写真には、こう記されています。「それはまるで黄金色に輝く光のようだった。」

そして——今その同じ御臨在が、まさにこの場に私のもとへ近づいてきているのです……。

55 主があなたを祝福してくださいますように、姉妹。

さあ——どうか静かに、敬虔に立ってくださいね。

もし私にあなたを助ける力があるなら、

喜んでそうします。

でも——私自身にはできないのです。

(男性に向かって)

あなたは今、奥さまのことを心配しておられましたね?

私はあなたの心を読んだわけではありません。

けれど——

あなたが奥さまのことを案じていたのを

主が見せてくださったのです。

あなたの奥さまもまた、

関節炎(リウマチ)と心臓の病を患っていますね。

そうでしょう？

さあ——

姉妹よ、立ち上がってください。

そして、癒しを受け取ってください。

主があなたを祝福されますように。

私は今、幻を見ました。

朝、あなたが奥さまを助けて床を渡らせている姿が見えました。

彼女が起き上がる時、あなたが支えておられましたね？

そうでしょう？

それは真実です。

今、私の目の前にその幻(ビジョン)が動いたのです。

ですから——

おふたりで家に帰ってください。

そしておふたりとも癒されなさい。

主があなたがたを祝福し、

完全に健康にしてくださいますように。

(次に別の姉妹に向かって)

姉妹、あなたは信じますか？

心の底から——信じますか？

私はあなたの兄弟です。

もし私に何かできることがあるなら、

何でもして差し上げたい。

けれど——私自身には何もできません。

私はただの神のしもべにすぎません。

私ができるのは、

あなたのために祈ること——それだけです。

でも、それこそが私に与えられた務めなのです。

56 あなたは——手術を受けたことがありますね？目のあたりで……。 (女性)「いいえ。」いいえ？ では——目に何か異常があるのですね？ (女性)「はい、二週間前に目が見えなくなりました。」ああ、そうですか。

なるほど——それでしたか。

(女性)「私はがんを患っていました。でも、事故にも遭ったんです。」ええ、そうですね。ずっと前の事故ですね——それが原因で、目に支障が出たのです。

今でもそのことがあなたを悩ませているのでしょうか?(女性)「これが起きたのは二週間前なんです。」はい、そうですね。私が言っているのは、その事故のことです。それが引き金になって、目が悪くなった。

それから——あなたは肩の腫瘍も信じて癒されようとしておられますね?

(女性)「はい、そうです。私は一度癒されたんです。三つのしこりがありました。胃にがんがありました。ジャガーズ兄弟が“がんのある人は手を上げて主を賛美しなさい”と言ったんです。私は手を上げましたが、上げていられませんでした。誰かが私の手を持ち上げてくれたようで、痛みが消えました。そしてそれ以来、痛みはまったくありません。」

(ブラナム兄弟)

——聞こえましたか? 皆さん、この証しをお聞きください。

(女性)「三つのしこりが一つになりました。それ以来、痛んだことは一度もありません。でも、完全に消えたわけではないんです。」

ええ、そうですね、姉妹。

(女性)「それから事故に遭いました。甥が私を病院まで車で送ってくれていた時のことです。夫が大学病院で危篤だと思っていたので、急いでいたんです。甥は眠ってしまって、私は叫びました。“赤信号よ! 車が来てる!”と。そして衝突しました。私はフロントガラスを割り、首が“ゴキッ”と音を立てました。甥は急ブレーキを踏みました。」

はい、姉妹。

(女性)「そして背中全体——脊椎がずれてしまいました。それに、すごく喉が渇くんです。」

分かりました。では——このハンカチを手握ってください。今、祈りを捧げます。皆さん、どうか頭を垂れて祈りの姿勢をお取りください。

これからお祈りいたします。

57 天の父よ——

今ここに立っているこの気の毒な女性を憐れんでください。

彼女は神経がすり減り、不安に押され、夜も眠れません。

今夜、祈りを求めてここにやって来ました。

彼女の脇腹には腫れものがあります。

どうか主よ、彼女に御憐れみをお与えください。

永遠の神よ、

あなたの祝福が今、彼女の上に注がれますように。

彼女が平安のうちに帰り、癒されていきますように。

そして今週、この集会在終わる前に——

彼女が人々の前で証しできるように、

「神が私を癒してくださった」と言えるようにしてください。

主よ、

このあなたのしもべの祈りをお聞きください。

主イエス・キリストの御名によってお祈りします。

アーメン。† 祝福のことば

神があなたを祝福してくださいますように、母よ。

帰って——喜びなさい。

そうです、姉妹。主の平安がありますように。

(彼女を見つめて)

なんと小さく、いじらしい方でしょう……。† 次の人へ

こんにちは、姉妹。

お加減はいかがですか。少しお弱いようですね。

あなたの胸につけている“Mother(母)”という札、

とても素敵です。

私はこう思うのです。

福音書は五つある——マタイ、マルコ、ルカ、ヨハネ、そして「母」。

なぜなら、母は最初に赤ちゃんを抱く人だからです。

育て、教え、導く人。

今夜、私にも老いた母が家にいます。

けれど——母ほど赤ん坊にとってかけがえのない存在はありません。

あなたもそうでしょう。

その手で、涙をぬぐい、痛みを癒し、

小さな頬をなでてやったことでしょう。

赤ちゃんが泣けば、あなたはキスをして慰めた。

すると痛みは消えていきました。

けれど——

今夜のあなたの痛みは、

人間のキスでは癒されません。

あなたに必要なのは——神からの触れられる力です。

あなたは腎臓に腫瘍(しゅよう)を抱えていますね？

(女性)「そうなんです。お医者さんがそう言いました。私はまだレントゲンを見ていませんけど。」

では——こちらに来てください。

主があなたをお癒してくださいます。

58 主なる神よ、憐れみをもってこの方に臨んでください。

どうか——彼女を癒してください。

この壇上から降りるときには、
完全に回復して歩めるように。

この気の毒な方……

身体は曲がり、力尽き、疲れ果てています。
どうか、主よ、あなたの祝福を注いでください。
主イエス・キリストの御名によって祈ります。
アーメン。

神があなたを祝福してくださいますように、母よ。

喜びながらお帰りなさい。

(婦人が喜びの声を上げる)

——そうです、母よ。

その喜びの声、当然です。

私も止める気にはなりません。† 喜びの自由

皆さんの中には、

「ちょっと不思議な光景だ」と思う方もいるかもしれません。

でも——主にすべてを委ねてください。

主が働かれるとき、人の心は自由になるのです。

心に喜びがあふれると、

それを表さずにはられない。

——あの方の心を祝福します。† 新たな啓示

(会場を見渡しながら)

そして——

あなたですね、その赤いジャケットの女性。

はい、そこに座っておられる方です。

あなたも長い間、苦しんできましたね。

医者たちは、あなたの症状をよく分かっていません。

一人は「肺に異常がある」と言い、

別の医者は「胃の病気だ」と言う。

そうでしょう？

(女性)「その通りです。」

ええ——でもどちらも違います。

私はあなたの心を読んでいるわけではありません。

しかし、

あなたが今まさにそのことを考えていたのを、

主が私に示されました。

「私はどうなるのだろう……」と

あなたは思っていましたね？

では——

今すぐ信じてください。

手を上げて、こう言ってください。

「主イエスよ、

私はあなたを私の癒し主として受け入れます。」

そう告白して、

家に帰りなさい。

そして、

病気のことはもう忘れて、

癒された者として歩みなさい。

主があなたを癒されます。

59 主イエスよ、どうかこの小さな気の毒な女性を祝福してください。

医師たちは最善を尽くしましたが、彼らの目には原因が見つかりませんでした。

しかし——私たちは知っています。サタンがその中に潜んでいることを。

サタンよ、おまえは医者目からは隠れたかもしれない。だが——神の御目からは決して隠れられない！主イエス・キリストの御名によって命じる。サタンよ、この女性から出て行け！今すぐ離れよ！アーメン。+ 喜びの宣言さあ——小さな姉妹よ、あなたはもう癒されました。これからは、神の栄光を証ししながら歩みなさい。その病のことは、もう心に留めないでください。思い煩いを手放し、平安の中を進みなさい。神があなたを祝福されますように。(確認しながら)あなたは——祈りのカードを持っていませんでしたね？つまり、この**祈りの列(ライン)**に呼ばれていたわけではなかった。(女性)「いいえ、私は列には入っていませんでした。」そうですか——それでいいのです。癒されるのに、カードも順番もいりません。信じる心があれば——主はそこにおられます。

60 こんにちは、兄弟。

お元気ですか？

あなたは心から信じますか？

主イエスがあなたを癒してくださると——信じますか？

主のみわざは、なんと驚くべきものでしょう。

あなたの苦しみは——胸の中ですね？

そうです、**進行が遅れている結核(TB)**です。

その原因は……

おそらく、**石の粉じん(rock dust)**の吸い込みによるものです。

そうですね？

(男性)「その通りです。」

けれど今夜、

あなたが最も必要としているもの——

それは、イエス・キリスト御自身です。

あなたの救い主としてのイエス・キリスト。

そうでしょうか？

(男性)「その通りです。」

では——

今ここで、主を受け入れましょう。

「私はイエス・キリストを

自分の救い主として受け入れます。」

と告白しながら、手を挙げてください。

(男性、手を挙げる) † 祈り

全能の神よ、

命の源、あらゆる良き賜物の与え主なる方よ。

どうかこの男性に、あなたの祝福を注いでください。

彼の罪をすべて赦し、

彼の身体を癒してください。

今夜ここから出て行くとき、

彼があなたのしもべとして歩み出せるように。

神よ、どうかこの愛する兄弟を祝福してください。

あなたの恵みが彼を守り、

癒し、赦し、

平安のうちに送り出してください。

主イエス・キリストの御名によって祈ります。

アーメン。

61 神があなたを祝福して下さいますように。

あなたは今、主イエスを救い主として受け入れました。

あなたは——もう私の兄弟です。

そしてこれからは、

同じ聖霊の導きの中を歩みなさい。

あの井戸のそばで女の人を知っておられたあの聖霊が、

今、あなたのすべての悩みもご存じです。

だから——そのまま前へ進みなさい。

主に仕えなさい。

洗礼を受け、

主の御名を呼び求めなさい。

そうすれば、あなたは癒され、すべて良くなります。

もし神が、あなたがどんな過去を持ち、

どんな者であったかをご存じなら、

神はまた、

あなたがこれからどうなるかもご存じです。

だから、今この私の言葉を信じてください。

心のすべてをもって主に仕えるなら、

あなたを苦しめていたものはすべて去ります。

神があなたを祝福されますように。

皆さん、一緒に言いましょう。

「神に栄光あれ!」

62 こんばんは。まあ、なんてかわいらしいお嬢ちゃんでしょう。

家にもね、君とほとんど同じくらいの小さな女の子がいるんだよ。ちょっとだけ、こっちを見てくれるかな? そうそう——少しだけでいいんだ。

ただ君と少しお話したいんだ。

君はとってもおりこうな子だね。

それにその髪飾り——なんて言うんだっけ?

そう、ヘアバレッタ(髪留め)、だね。

とってもきれいだよ。

学校に行くのは好きかな?

それから——日曜学校も好きだよね?

うん、そうだね。

さあ、少し質問してもいいかな?

もし今夜、神の御子イエス様が

この場所に実際に立っておられたとしたら——

イエス様は君を見て、きっと話しかけてくださるよ。

イエス様は子どもたちをとっても愛されたんだ。

手を置いて、祝福して下さったんだよね。

もし今ここにイエス様が立っておられたら、

君に向かってこうおっしゃるだろう。

「君がどこに痛みを持っているのか、
何が原因なのかを私は知っているよ。」

そして手を君の上に置いて祝福し、

君は元気になって帰るんだ。

そうだろう？

じゃあね——

イエス様がブラナム兄弟を

そのお働きのために遣わされたと信じられるかな？

うん、それでいいんだよ。

じゃあね、君の小さな心に信仰が芽ばえるように——

お話しておくね。

君の痛みは右のわき腹にあるね？

そうですね？

そこには、小さな**脂肪のかたまり(脂肪腫)**が

横隔膜の内側にあるんだ。

お医者さんも、

それが何か正確には分からなかったんだよね。

でもね、右のわき腹に問題がある。

そうですね？

そして——君を診たお医者さんは、

灰色のコートを着ていた先生だったね？

そうだね。

さあ、もう信じられるね？

君はこれからおうちに帰って元気になるよ。

信じる？

じゃあ——おいで。

(手を伸ばしながら)

63 愛する天の父よ、どうかこの小さな女の子を祝福してください。

彼女が家に帰り、完全に元気になりますように。私はこの子を苦しめている悪しき霊を、主イエス・キリストの御名によって叱ります。

この夜、この子から出て行け。

そして——この子が健やかに生き、

主に仕える者となりますように。

もう二度と、

この苦しみが彼女を襲うことはありませんように。

主イエス・キリストの御名によって祈ります。

アーメン。

神様の祝福があるようにね、かわいい子。

これからはイエス様に感謝しながらお帰りなさい。

もう大丈夫。きっと元気になりますよ。

アーメン。

皆さん、一緒に言いましょ。

「神に栄光あれ!」† 次の女性との出会い

こんばんは、姉妹。

あなたのご病気は深刻ですね。

でも、あなたは信じますか?

主があなたを癒してくださいと。

(女性がブラナム兄弟に話しかける)

—あなたはこれまで何度も発作のようなものがあつたのですね。

では、一緒に主に祈りましょ。

64 主イエス様、私はあなたが彼女を深く祝福することを祈ります、しかしあなたはすべての問題を動かすことができます。今夜あなたが彼女を癒してくれることを祈ります。そして彼女が家に帰って元気になりますように。イエス・キリストの名において、それが彼女を去りますように。アーメン。さあ、信じて行きなさい、姉妹。少し後でお話させてください。

「神に感謝します」としましょ。

それはあなたのお父さんですか? お父さん、泣かないで。その少女は癒されました。あなたはあなたがそこにいる小さな男の子だと思っていますね? あなたは祈っていましたね? 彼はあなたの祈りを聞いた。あなたの小さな男の子は首と頭に何か問題があります。潰瘍です。そうじゃないですか? 子供に手を置いてください。

主イエス様、私はその子供を悩ますその悪魔を叱責します。イエス・キリストの名において、それが彼を去りますように。彼から出てきなさい。お父さん、神はあなたを祝福します。恐れるな。あなたの赤ちゃんは大丈夫です。

65 ここを見てください。家に帰って昔のように食べてみませんか? 大丈夫です。私が神の預言者であると信じますか? それなら、主イエス・キリストの名においてあなたの夕食を食べに行きなさい、そうすればその胃の問題はあなたを去ります。

同じことをしたいですよ? そうですか? 大丈夫です。それなら夕食を食べに行きなさい。主はあなたを祝福します。行って、心を尽くして彼に仕えなさい。

見て! 緊張している[不明瞭な言葉]ですね。その神経質な状態があなたの胃をそのように引き起こす原因になりました。ただそれを忘れてください。家に帰って[不明瞭な言葉]。主はあなたと共におられます。

大丈夫です。来てください。あなたは私が神の僕であると信じていますか...彼の預言者ですか? [男

は「はい、先生」と言います。]あなたの問題はあなたの背中にありますね。家に帰りなさい。イエス・キリストはあなたを元気にしてくれました。神はあなたを祝福します。

「神に賛美を」としましょう。

66 あなたは心から彼を愛していますか？ 今、聖霊がここにいます。今、彼から何も隠すことはできません。主の天使は非常に豊かにやろうとしています。今すぐそこに祈り始めて、心から彼を信じてください。彼が神ではないかどうか見てください。私が尋ねたこと、私があなたに話したこと、それらが真実でないかどうかを見てください。どこでも、どこでも。神を信じなさい。大丈夫です。

あなたは元気になりたいですか？ [「はい、先生。】主イエス様、あなたが彼を祝福してくださることを祈ります。そして彼が今夜ここから去り、普通に喜び、元気になりますように。イエス・キリストの名において、私はそれを尋ねます。サタン、その男を去りなさい。キリストの名において、私はそれを尋ねます。

聞こえますか？ あなたは癒されました。あなたは今家に帰って元気になることができます。神はあなたを祝福します。

「神に感謝します」としましょう。

あなたはその心臓の問題を乗り越えたいのですか、姉妹？ [「はい】ただ喜んで、「主よ、私を癒してくださいありがとうございます」と言ってください。ありがとうございます。

67 兄弟、水頭でその赤ちゃんに手を置いてください。主イエス様、あなたがその赤ん坊を祝福してくださることを祈ります。そして、イエス・キリストの御名によって、神の力がその子を動かし、元気にしてくださいますように。アーメン。

赤ちゃんはかなり長い間そのように成長しています。私は長い間あなたを見てきました。私はあの小さなお母さんも赤ちゃんと一緒にそこに座っているのを見ています。シスター、私はあなたの赤ちゃんを癒すことはできませんが、あなたの赤ちゃんは耳が聞こえません。そうですか？ そうです。そして、あなたも苦しんでいます。あなたは腫瘍を持っています。そうですか？ それが正しければ、このように手を挙げてください。私は私の人生であなたに会ったことはありません。私はあなたの問題を知っています。あの人はずっとそこに座っているのも面倒だと思います。私はそれを癒すことはできません。赤ちゃんの耳に手を置いてください。

全能の神よ、私は赤ん坊のその耳の聞こえない霊を叱責します。そして、私は女性からの腫瘍が...彼女が元気になるようにお願いします。イエス・キリストの名においてそれを認めてください。

神を信じなさい。

その女性の問題であなたはそこに座ったままになりました、姉妹。あなたは今家に帰って、喜び、幸せになることができます。それはちょうどその時あなたを去りました。

あなたの喘息...あなたはそれを乗り越えたいですか？ 喜んで行きなさい。「主イエス様、ありがとう」と言って元気になってください。

68 聖霊はここにいます。信じますか？

あなたは癌にかかっていますね？ イエス・キリストからのあなたの癒しを受け入れ、家に帰って元気になってください[不明瞭な言葉]。

レディ、あなたは腎臓に問題がありますね？ プラットフォームを横切って進み、元気になりましょう。

信じますか？

あなたは、そのようにあなたの手足でそこに座っています。それは血塊ですよ？ 今週の初め、あなたは歩くことさえできませんでした。あなたは今、忍び寄り始めています。そうですか？ サービスが終わったら、荷物を受け取って家に帰り、元気になってください。血塊が散らばり、主イエスの御名によってあなたを去りました。

信じますか？

神は御言葉を確認されます。ここで今癒されたいと思っている人は何人いますか？お互いに手を置いてください。

全能の神、あなたの御子イエスの名において、降りてきてこの光景を見てください。サタン、人々から出てきなさい。私はイエス・キリストの御名によってあなたを人々から離れるように裁きます。



www.messagehub.info

説教の語り手

ウィリアム・マリオン・ブラナム

"...第七の御使が吹き鳴らすラッパの音がする時には、神がその僕、預言者たちにお告げになったとおり、神の奥義は成就される。" 黙示録 10:7